

原子力に関する国民世論の動向 ：とくにJCO事故後の世論

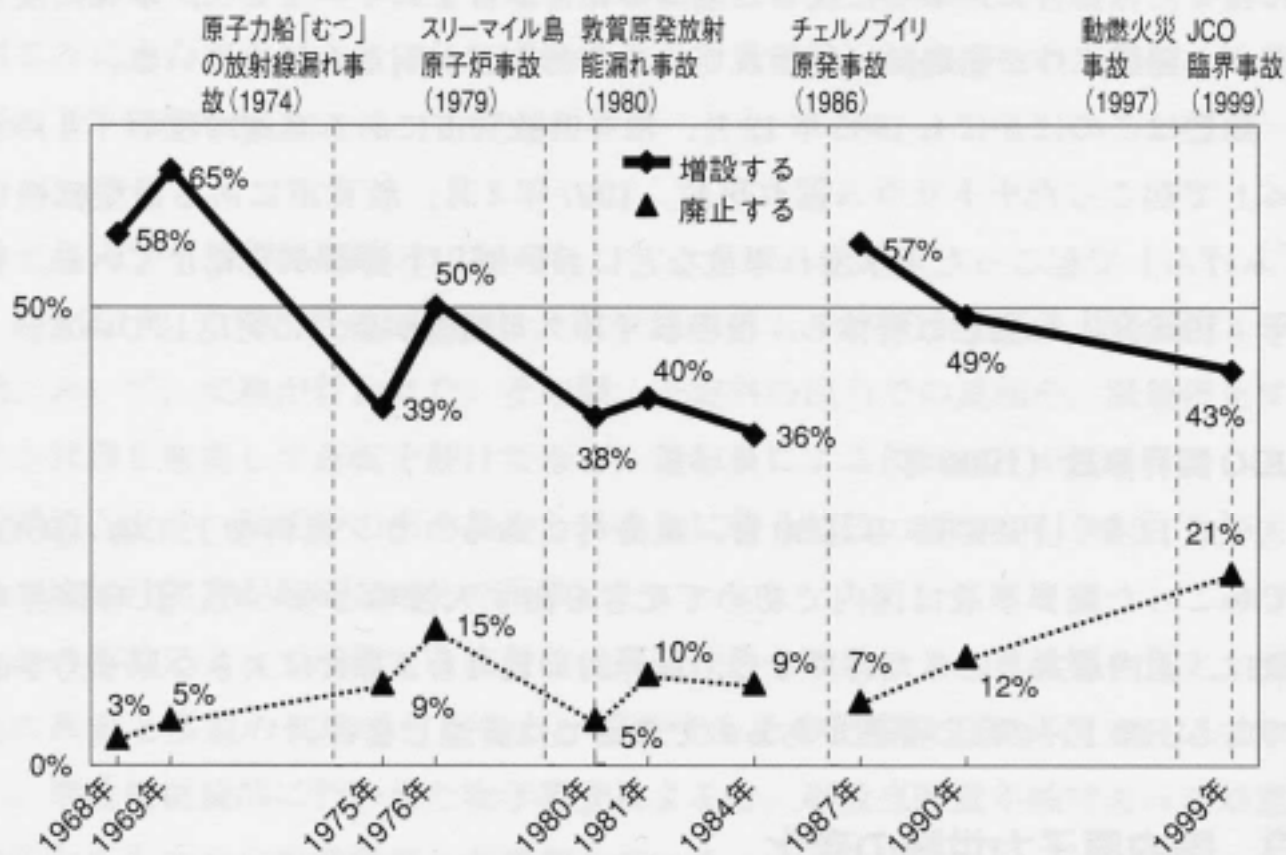


図4.1 原子力発電の進め方（総理府世論調査）

注）1987年以降の調査では選択肢に「慎重に増やす」を追加しているため、それ以前の調査との単純な比較は難しい。

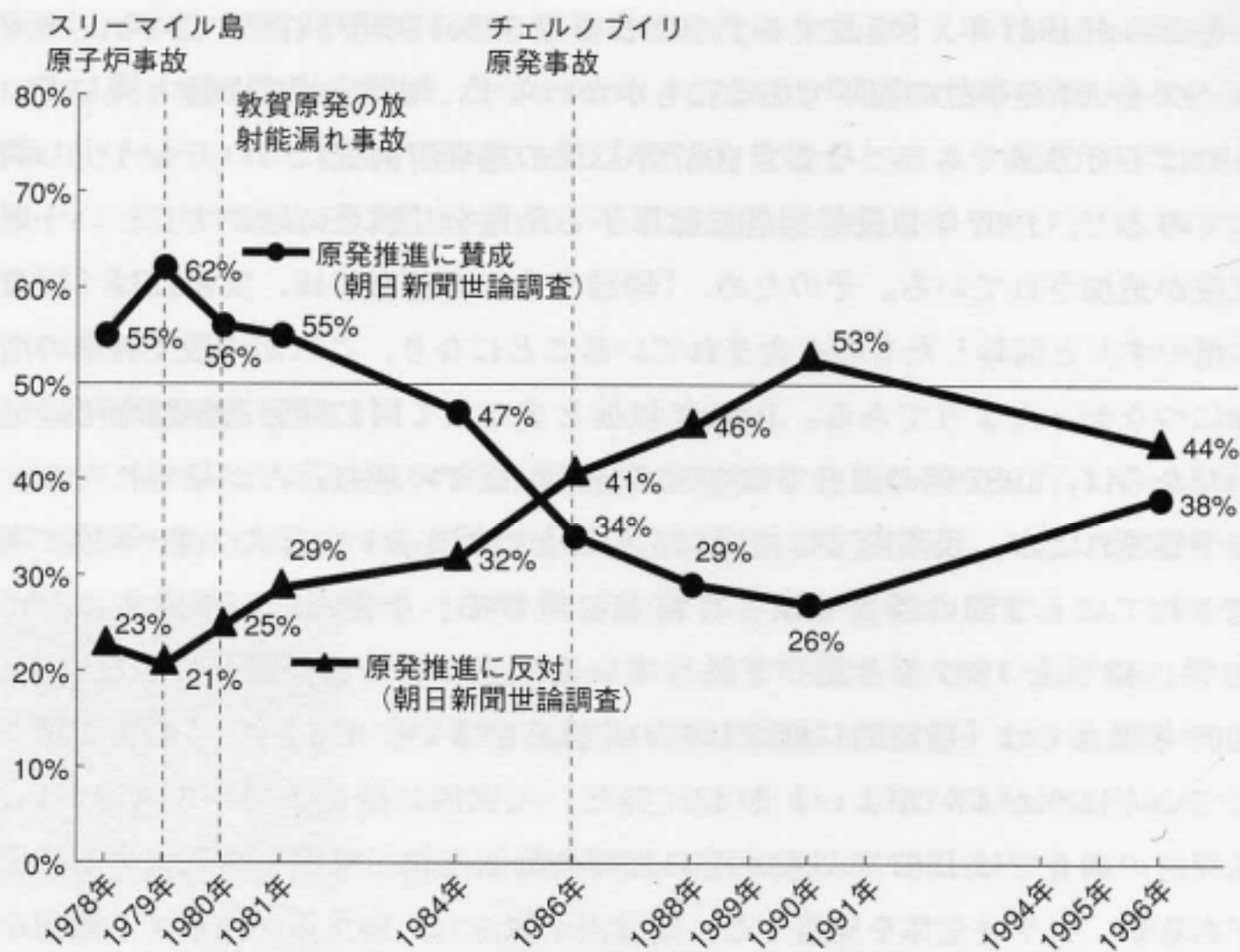


図4.2 あなたは、これからのエネルギー源として原子力発電を推進することに賛成ですか
(朝日新聞「定期国民意識調査」ほか)

調査概要

- 実施時期：1999年11月第一週から2000年1月10日まで
- サンプルング：次の三地点の加重サンプルング
 - (1)東海村・那珂町
 - (2)原発立地地点
 - (3)政令指定都市

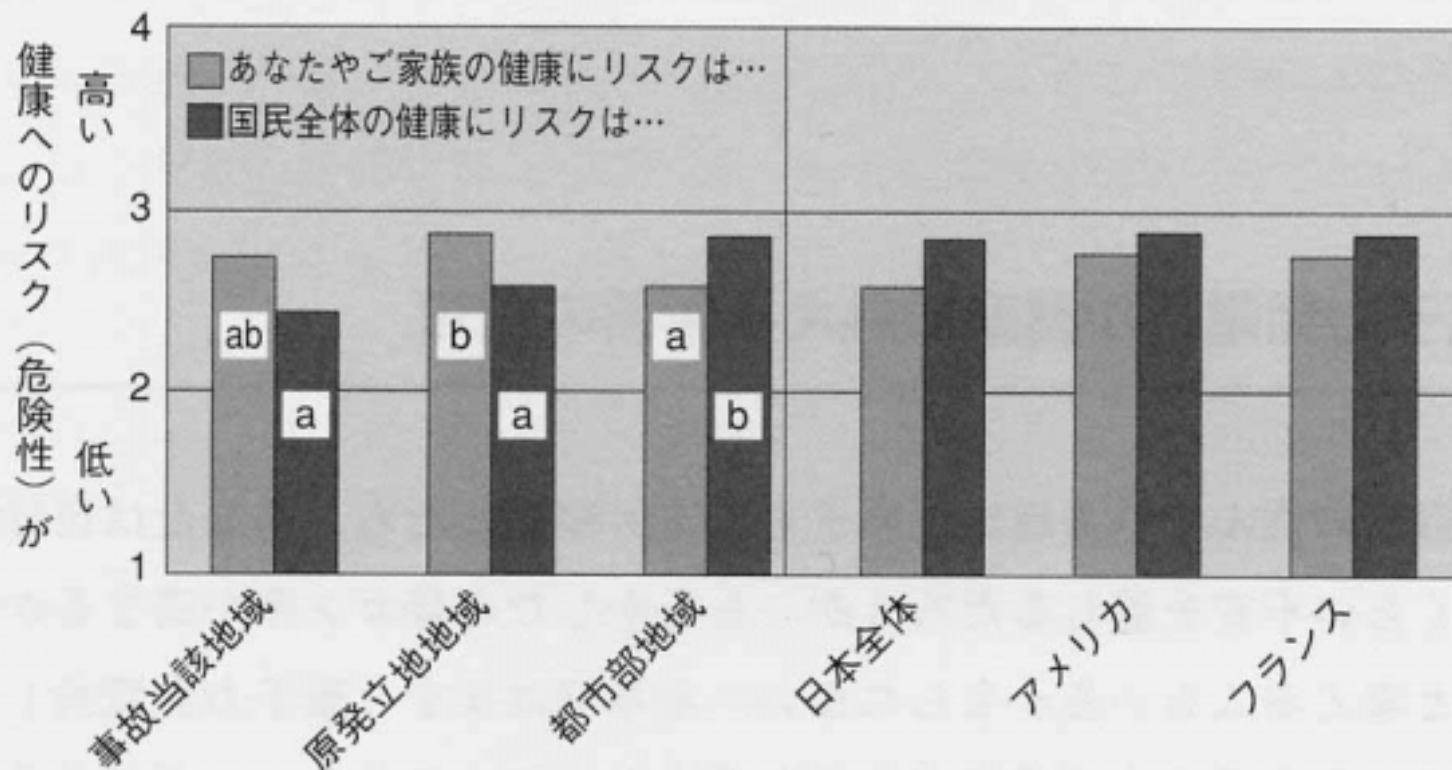


図7.1 原子力発電所が健康に与える影響の認知

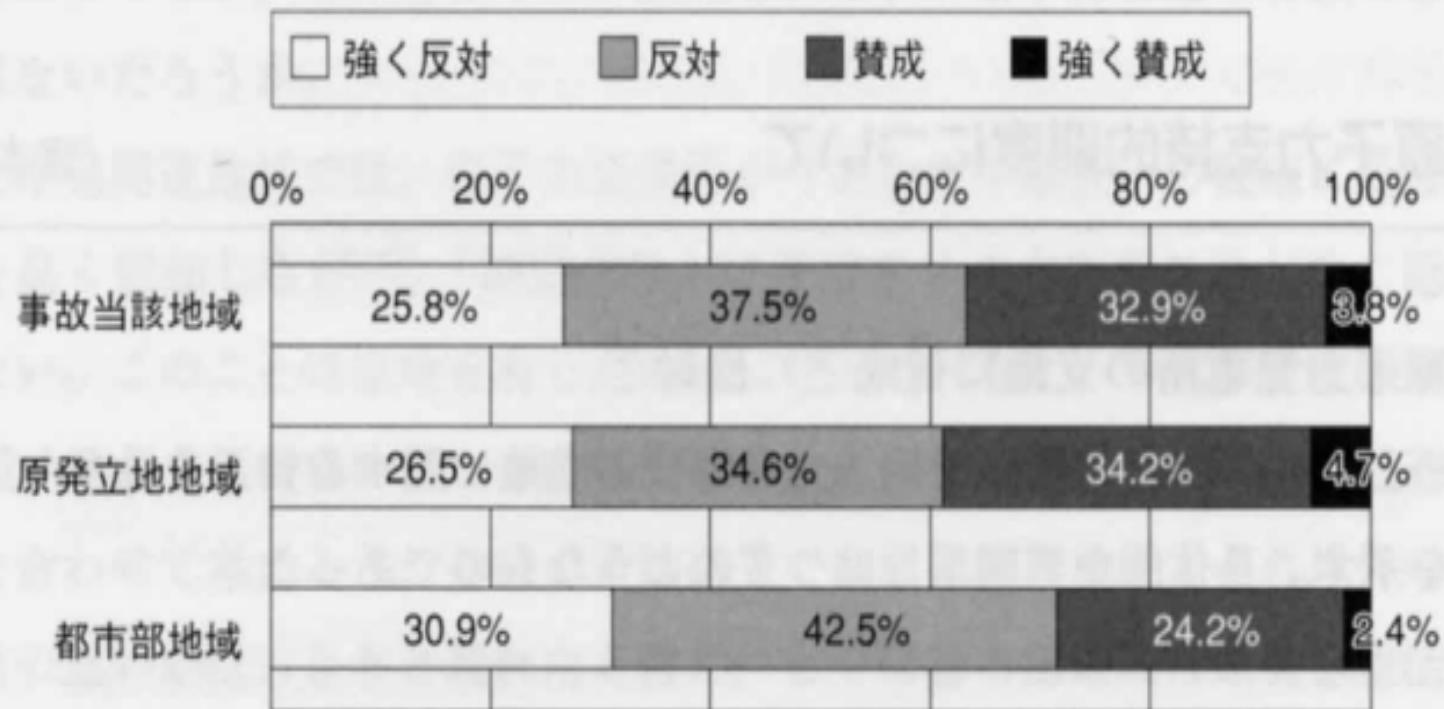


図8.1 もしあなたの地域で電力不足の可能性に直面したら、電力供給のために新しい原子力発電所を建設することに対して、あなたは、「強く賛成」「賛成」「反対」「強く反対」しますか

表 8.2 原子力支持的態度因子に対する各設問の因子負荷量

| 項 目 | 因子負荷量 |
|---|-------|
| 将来の電力需要を満たすためのエネルギー輸入を避けるためには、日本は、原子力発電所の割合を高めるほうが良い。 | .756 |
| 石炭や石油燃料にともなう酸性雨、オゾン層破壊、気候の変化の健康への影響を考慮すると、将来の電力需要を満たすために、日本は原子力の依存度を高めるほうが良い。 | .723 |
| 原子力は科学技術においてわが国が誇るべき結果だ。 | .704 |
| 原子力はわが国の経済繁栄のために必要不可欠だ。 | .673 |
| 原子力産業は既存発電所よりも安全な新世代の原子力発電所の建設が可能だという立場をとっている。もしそうだとすれば、国の将来の需要を満たすため、このような新世代の原子力発電所の建設に賛成である。 | .669 |
| 原子力発電所を建設、運転、調整する専門家や技術者は信頼できる。 | .651 |
| 原子力産業は廃棄物を安全に管理する能力がある。 | .644 |
| 原子力はわが国の国際的地位と安全保証にとって必要不可欠だ。 | .630 |
| 放射性廃棄物を安全に保管する方法がわからないから、原子力発電所の使用をやめるべきだ。 | -.602 |
| 原子力は不道德だ。なぜならば未来の世代の了承なしに彼らにリスクを押しつけるからだ。 | -.571 |
| ほとんどの科学者は原子力のリスクが受容可能であることに同意している。 | .567 |
| 原子力発電所の建設認可の手続きには、住民の懸念を考慮する機会が十分に与えられている。 | .523 |
| 原子力の危険性に関する意見の相違は科学的データや分析により解決することができる。 | .503 |
| 雇用や交付金の見返りがあれば、周辺地域は原子力の発電所によるリスクを受け入れても良い。 | .488 |
| 原子力発電所や火力発電所を増やすのをやめて、電力供給の新しい方法を開発すべきだ。 | -.486 |
| 原子力発電所の周辺住民は、発電所が適切に運転されていないと思われる場合に発電所を閉鎖する権力をもつべきだ。 | -.414 |
| 近くに原子力発電所があると、よその人々から見てその地域の魅力が低下する。 | -.398 |
| 原子力発電所は、周辺の住民が受け入れに自発的に賛成するまで建設・運転してはならない。 | -.299 |
| 原子力のような問題は住民投票で決定すべきだ。 | -.271 |

 $\alpha = .88$

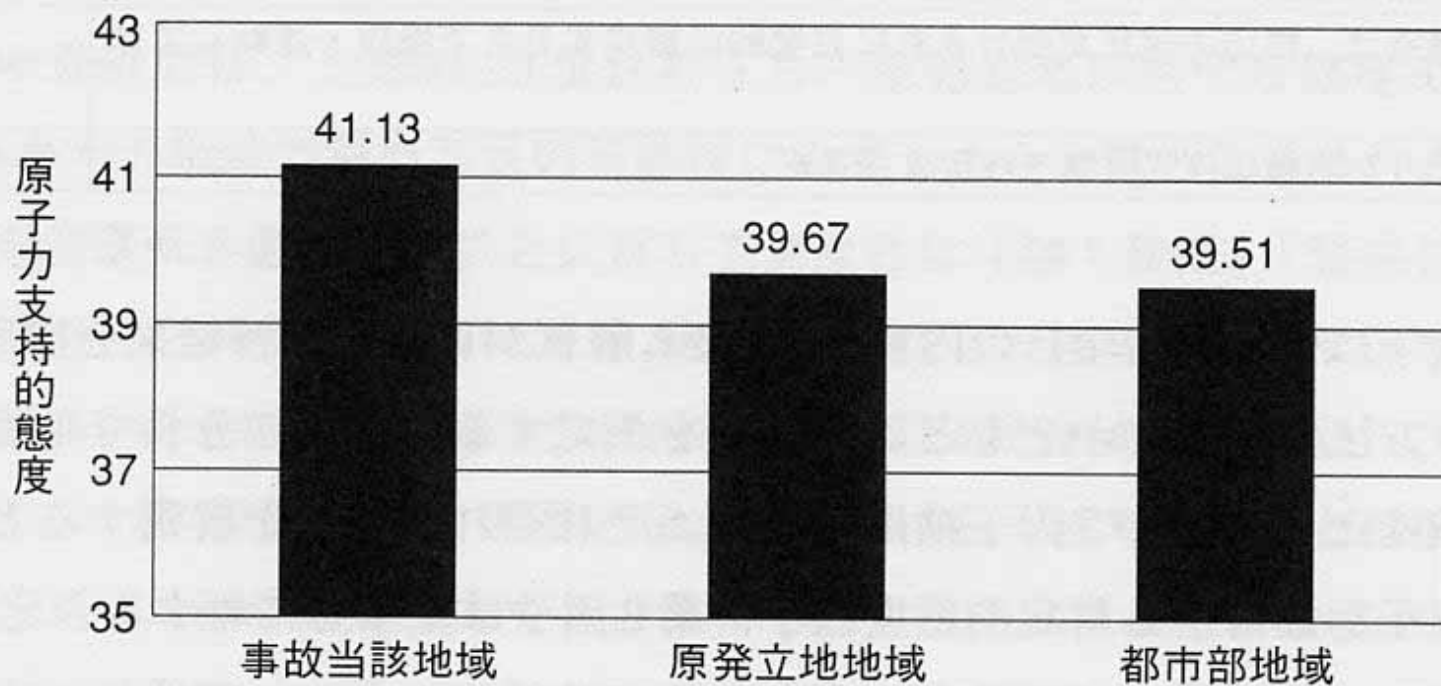


図8.3 原子力支持的態度の3地域比較

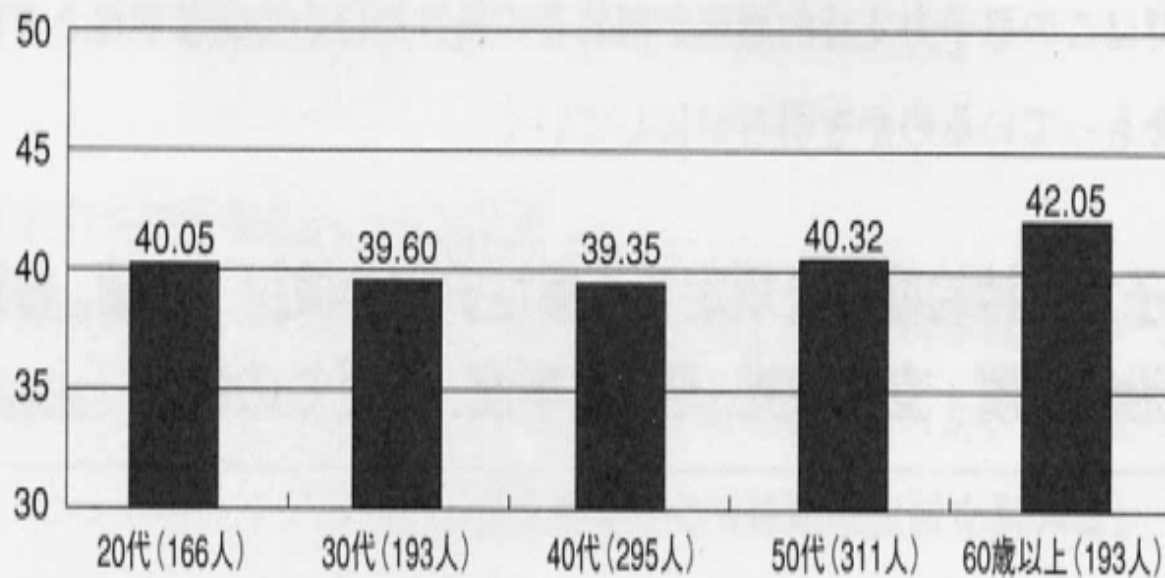


図 8.4 年代別に見る原子力支持的態度得点

注) 分散分析の結果、年代の有意な主効果が見られている ($F = 2.75$ $p < .05$)。下位検定の結果では有意な差は見られていない。

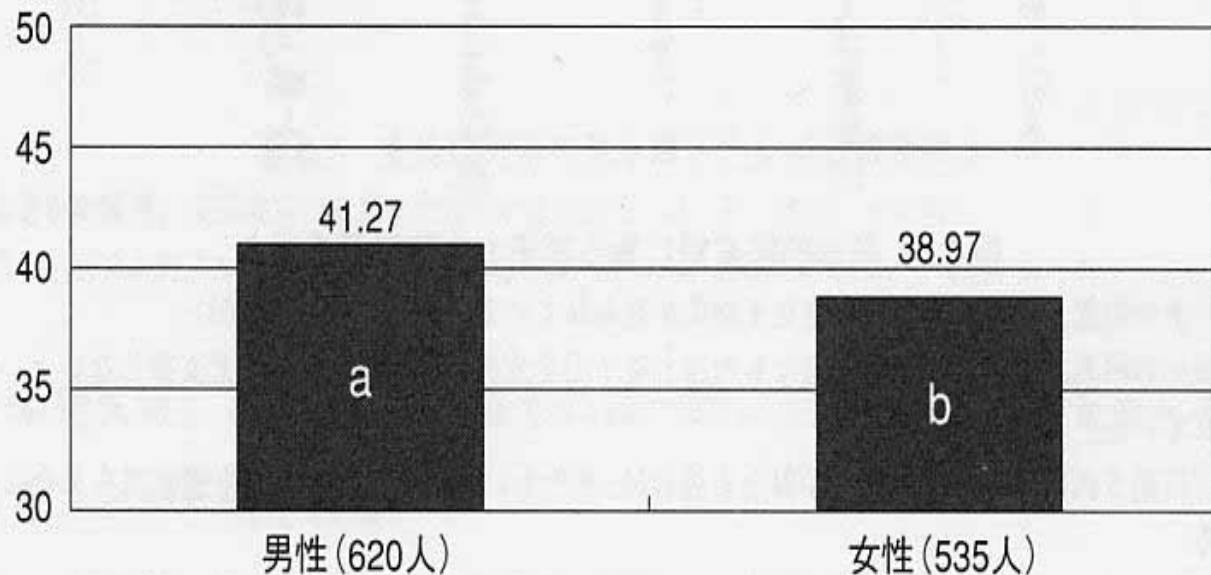


図 8.5 性別に見る原子力支持的態度得点

注) t 検定の結果, 男性の平均値のほうが, 女性よりも有意に高いことが示された ($F = 4.23$ $p < .001$)。値の下に記されたアルファベットが異なる場合は, その間に統計的に有意な差が見られたことを示している。

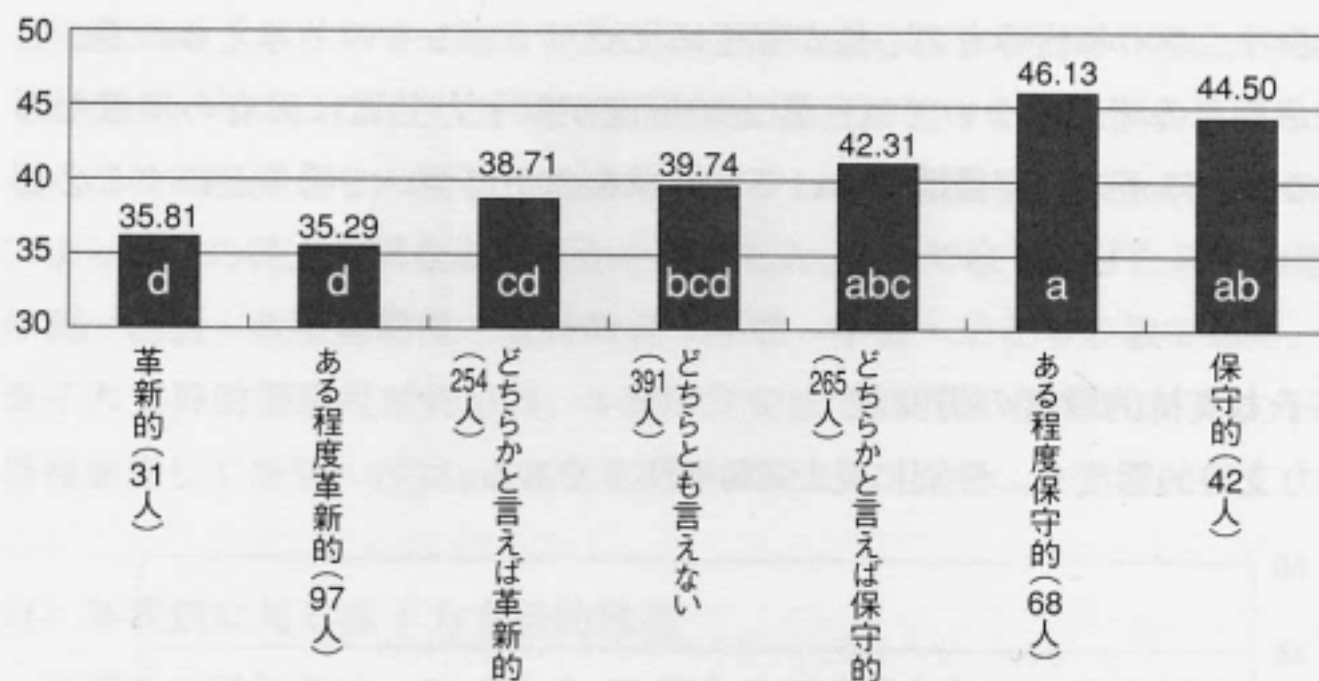


図 8.6 政治的態度別に見る原子力支持的態度得点

- 注1) 分散分析の結果、政治的態度の有意な主効果が見られている ($F = 16.38, p < .001$)。
- 注2) 下位検定の結果、全体として保守的なものほど原子力を支持、革新的なものほど支持しないという傾向が見られている。
- 注3) 値の下に記されたアルファベットが異なる場合は、そのあいだに統計的に有意な差が見られたことを示している。
- 注4) 「革新的」(1点)～「保守的」(7点)と数量化し、原子力支持的態度との相関を算出した結果で ($r = 0.259, p < 0.001$)、保守的であるほど原子力支持的態度が高いことが示されている。

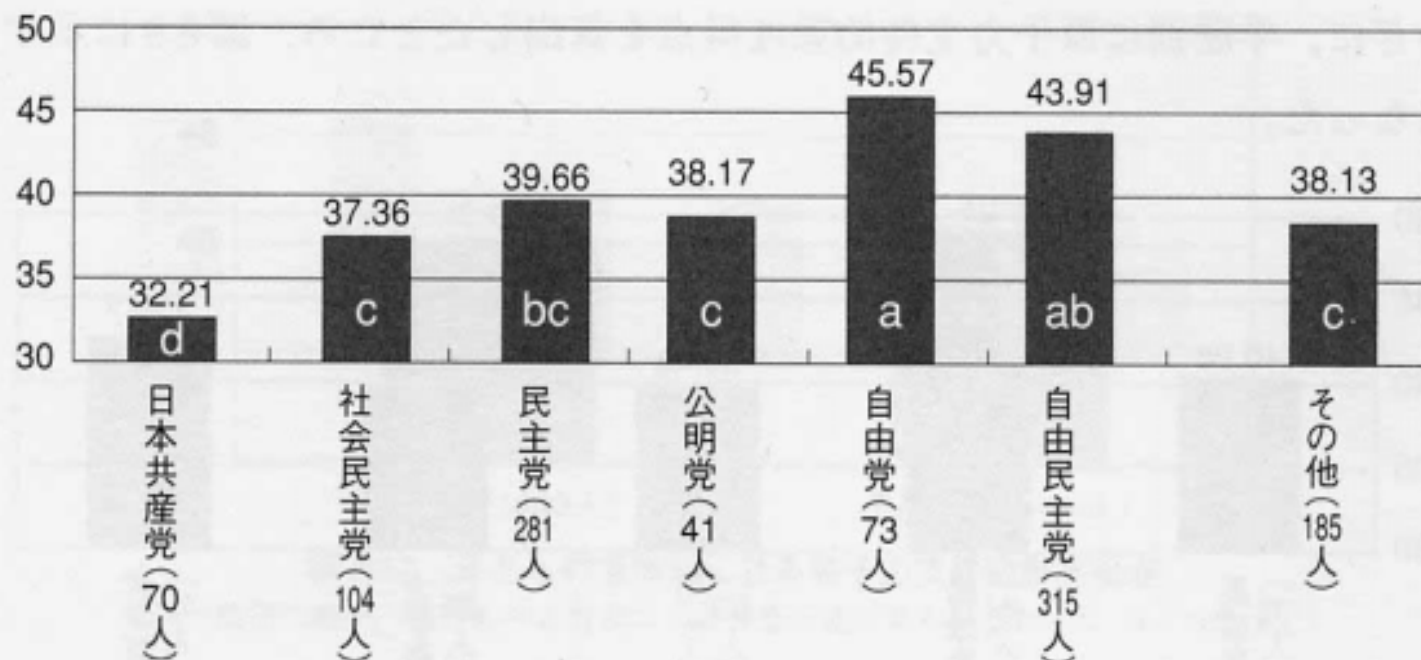


図 8.7 支持政党別に見る原子力支持的態度得点

注 1) 分散分析の結果、支持政党の有意な主効果が見られている ($F = 28.13$ $p < .001$)。

注 2) 値の下に記されたアルファベットが異なる場合は、そのあいだに統計的に有意な差が見られたことを示している。

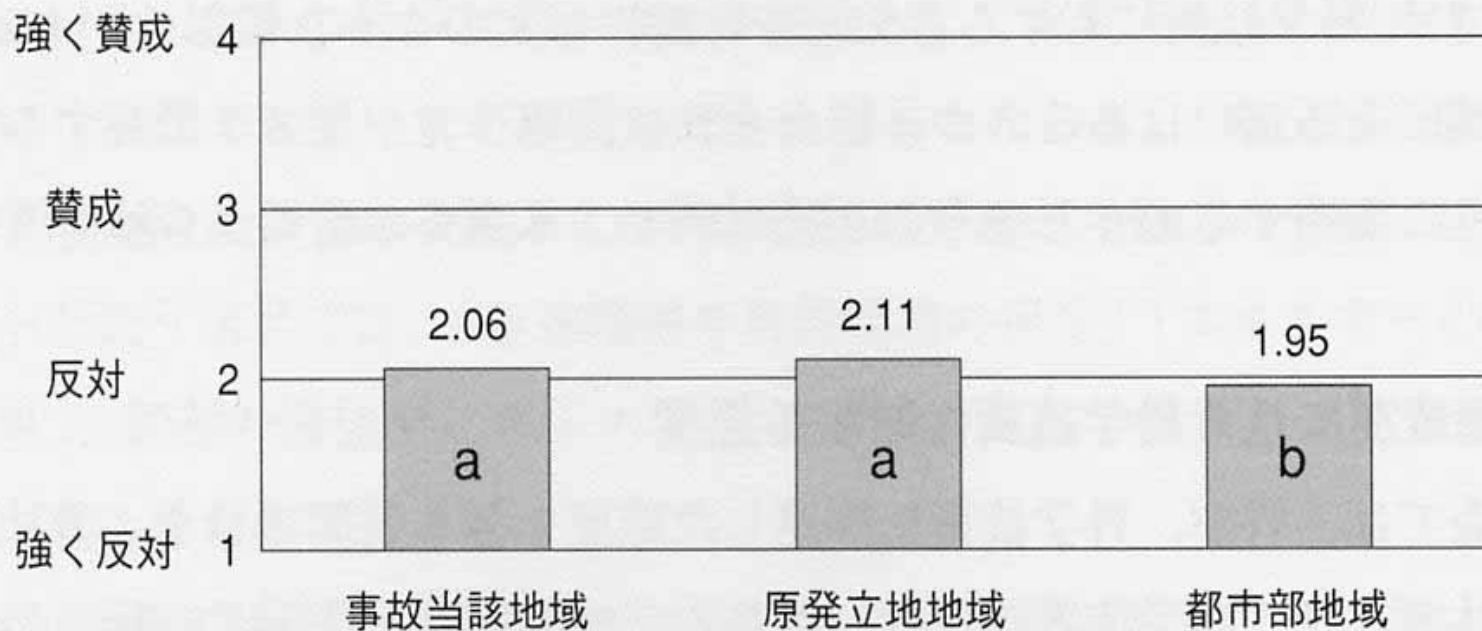


図8.13 政府や産業界は、科学技術のリスクに対応するための適切な決定をしていると信頼して良い【政府が科学技術を利用することへの信頼度】

重要な点

- JCO事故によって、世論が大きく硬化したという事実はない。
- 原子力に対する態度には、特性的要素や一般的価値観が反映している。
- 原子力に対する態度が、原子力に関する情報だけに依存して形成されるわけではない。

世論調査の価値

- 原子力世論を定期的にチェックする必要がある。
- 立地地点での政策策定も、住民投票より世論調査のほうが役立つ点がある。
- 政策立案過程に世論調査を取り入れるべきである。